

全数・定点報告疾患集計表（管内で届出のあった疾患のみ抜粋）

【全数報告疾患】

	疾患名	35週 ～36週	累計 (年)
2類	結核	0	2
3類	腸管出血性大腸菌感染症	1	2
4類	レジオネラ症	0	2
	E型肝炎	0	2
5類	百日咳	0	3
	侵襲性肺炎球菌感染症	0	2
	梅毒	0	3
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	2
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	0	2
	アメーバ赤痢	0	1
	急性脳炎	0	1
	水痘(入院例)	0	1
	後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)	0	1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	1
	多剤耐性緑膿菌感染症	0	1

【定点報告疾患】 ※県より上回っているものは赤字にしています。

疾患名	山武保健所		千葉県	
	35週	36週	35週	36週
インフルエンザ	0.67	1.5	2.51	5.49
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	0.17	0.67	1.29	2.07
RSウイルス感染症	0.33	0.33	0.6	0.61
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.33	0.33	1.47	1.57
感染性胃腸炎	1.0	1.0	2.62	3.55
手足口病	8.67	0.33	1.81	1.33
突発性発疹	0.33	0.33	0.19	0.19
急性呼吸器感染症(ARI)	31.0	27.5	42.34	52.36

※定点報告疾患については、該当週に報告数0の疾患は掲載していません。また、第32～36週のグラフを添付しております。

感染症トピックス

TOPICS 1

9月24日から30日は結核・呼吸器感染症予防週間

及び非結核性抗酸菌症啓発週間です！

厚生労働省においては、9月24日から30日までを「結核・呼吸器感染症予防週間及び非結核性抗酸菌症啓発週間」として普及啓発を行っています。

結核は、現在でも国内の主要な感染症です。2週間以上せきが続く場合は、結核を疑い、重症化と感染拡大防止のために、医療機関を受診しましょう。

また、新型コロナウイルス感染症をはじめとした呼吸器感染症の感染防止のために、マスク着用を含むせきエチケット、手洗い、換気等の基本的な感染対策を行いましょう。

感染症解説
結核

症状

咳、痰、発熱、呼吸困難等、風邪のような症状を呈することが多いですが、肺以外の臓器が冒されることもあり、腎臓、リンパ節、骨、脳等身体のあらゆる部分に影響が及ぶことがあります。

特に小児では症状が現れにくく、全身に及ぶ重篤な結核につながりやすいため、注意が必要です。

感染経路

・空気感染

結核が進行すると、咳やくしゃみ等によって、空気中に結核菌を含んだ飛沫が飛び散るようになります。その結核菌を吸い込むことにより周りの人に感染が広がります。

予防と対策

定期的に胸部エックス線検査を含む
健康診断を受ける

結核を発症しても、早期に見てきれば重症化を防げるだけでなく、家族や友人等への感染拡大を防ぐことができます。



ワクチンを接種する

生後1歳までのBCGワクチン接種により、小児の結核の発症を52～74%程度、重篤な髄膜炎や全身性の結核に関しては64～78%程度罹患リスクを減らすことができますと報告されています。



感染症解説 非結核性抗酸菌症（NTM症）

非結核性抗酸菌症とは…

環境中に広く存在する非結核性抗酸菌（non-tuberculous mycobacteria: NTM）によって発生する感染症で、肺への感染が最も多く、次いで皮膚への感染の順となっています。わが国ではNTM症の患者数が増加傾向にあり高齢者に多くみられます。

症状

長引く咳、痰、発熱、呼吸困難といった症状が代表的ですが、初期には無症状で経過が緩やかな場合や、増悪と軽快を繰り返す場合もあり、進行速度や症状の出方は患者ごとに異なります。

感染経路

NTMは土壌や水系などの自然環境や、浴室のシャワーヘッド、水道の蛇口等に生息しており、NTMを含むエアロゾルの吸入等により、肺内に取り込まれます。

一方で、NTMを吸入しても発症に至らない例があるため、発症は宿主の免疫や体質に依存すると考えられています。一般的に、NTMはヒトからヒトへは伝播しません。

予防と対策

- ◆ NTMは環境中に広く存在するため感染を完全に予防することは困難です。
- ◆ ヒトからヒトへは基本的に伝播しませんが、高齢者や基礎疾患のある方では発症しやすいことがあります。長引く咳や痰などの症状がある場合には早めに医療機関を受診し、早期発見・早期治療につなげることが重要です。

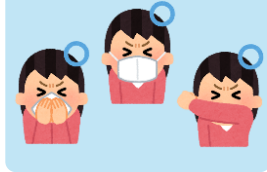
その他にも、呼吸器感染症には以下のようなものがあります。

インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナ等

予防と対策

- ◆ 「マスクの着用を含めた咳エチケット」や「手洗い（手指消毒）」、「換気」等の基本的な感染対策が効果的です。

咳エチケット



マスク着用



手洗い



換気



TOPICS 2

ウガンダにおけるエボラ出血熱の流行国としての対応が終了しました。

2026年5月17日（日本時間）、世界保健機関（WHO）がコンゴ民主共和国及びウガンダにおけるエボラ出血熱の流行について、「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態（PHEIC）」と判断しました。

これを受け、検疫所では、コンゴ民主共和国又はウガンダに滞在歴のある方に対して入国（帰国）時の健康状態等の確認を行っています。今般、世界保健機関（WHO）がウガンダにおけるエボラ出血熱の流行の終息を宣言したことを踏まえ、2026年8月28日をもって、ウガンダについてエボラ出血熱の流行国としての検疫所の対応を終了しました。

コンゴ民主共和国に滞在されていた方については、引き続き、コンゴ民主共和国の滞在歴等を確認後、必要に応じて健康監視等の検疫措置を実施しています。

**コンゴ民主共和国で、
エボラ出血熱が発生しています。**

【検疫所からのお知らせ】

- ✓ 感染した人の血液や体液、これに汚染された可能性のあるもの、動物（死体を含む）に触らないでください。
- ✓ 病原体に感染したおそれがある方を対象に、最大21日間、健康状態の観察を行います。コンゴ民主共和国に渡航又は滞在された方は、帰国時に検疫官にお申し出ください。

エボラ出血熱

症状
潜伏期間は2日から21日程度で、発熱、全身倦怠感、筋肉痛、頭痛などの症状に始まり、その後、嘔吐、下痢、発疹が出現します。さらに症状が増悪すると、出血傾向や意識障害が生じます。

感染経路
感染した動物（コウモリ、霊長類など）や感染した人の体液等（血液、分泌物、吐物・排泄物など）との接触などです。



【引用文献】

〈厚生労働省 結核〉

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou03/index.html

〈厚生労働省 急性呼吸器感染症（ARI）〉

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/ari.html>

〈厚生労働省 急性呼吸器感染症（ARI）に関するQ&A〉

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/ari_qa.html

〈厚生労働省 非結核性抗酸菌（NTM症）〉

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/ntm.html

〈厚生労働省 感染対策・健康や医療相談の情報〉

<https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/kenkou-iryousoudan.html>

〈厚生労働省検疫所FORTH エボラ出血熱に係る検疫について（2026年8月28日更新）〉

https://www.forth.go.jp/topics/newpage_00582.html

〈厚生労働省検疫所FORTH コンゴ民主共和国におけるエボラ出血熱に係る注意喚起について〉

https://www.forth.go.jp/news/20260828_00001.html

詳しくは
→ FORTH 検疫所

海外で健康に過ごすために
FORTH 検疫所

FORTH 検疫所

厚生労働省 検疫所

検疫所

検疫所

検疫所

検疫所

検疫所

検疫所

検疫所

検疫所

検疫所

検疫所

山武保健所管内の感染症発生動向（最近5週）

● 管内 ▲ 県全体 — 警報基準値 - - - 解除基準値

マイコプラズマ肺炎とクラミジア肺炎は基幹定点のみCOVID-19、RSウイルス感染症、マイコプラズマ肺炎とクラミジア肺炎は警報基準値等の設定なし。

